

国際理解出前講座

大草原の国・モンゴル

講師：レンツェンホルロー オウンゲレルさん

6月23日（火）青山公民館で、モンゴル出身のレンツェンホルロー オウンゲレルさんを講師に迎え、国際理解出前講座を開催しました。オウンゲレルさんは、モンゴルの大学で日本語を専攻した後、日本の大学院でも日本語を勉強され、とても流暢な日本語を話されます。

参加者の方にモンゴルと言うと何を思い浮かべるか尋ねると、やはり、今たくさんのモンゴル出身力士が活躍する大相撲と答える方が多かったです。



<モンゴル相撲（ブフ）の力士たち>

講座では、モンゴルの四季をたどる形で人々の暮らしが紹介されました。遊牧民の住居「ゲル」、夏のお祭り「ナーダム」の競技である相撲・競馬・弓、モンゴルの正月に作られるボーズと言う料理など、あまりなじみのないモンゴルでの暮らしぶりに、参加者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。日本の国語の教科書に掲載された、「スーホの白い馬」という物語に登場する馬頭琴の音楽も聞きました。

参加者の皆さんがとても熱心に聞いておられたせいか、講師の話にも熱がこもり、予定の時間を過ぎてしまうほどでした。

講座後、「モンゴルのことをまったく知らなかったが、今日の話でとてもよくわかりました。」と感想を述べられる方もおられました。



<遊牧民の住居「ゲル」>